



Ritsumeikan  
Asia Pacific University



立命館アジア太平洋大学設置事業建設工事竣工記念

2000.1.14

学校法人 立命館



## アジアの人材育成拠点に

大分県知事 平松 守彦

立命館アジア太平洋大学の竣工にあたり、お祝いを申し上げます。

来る21世紀は「アジアの時代」と言われ、大分県とアジアとの交流が今後一層進展するなか、アジアにおける人材育成拠点としての立命館アジア太平洋大学が開学されますことは、本県にとりましては、若者の定住対策や別府市の活性化という点できわめて大きな意義があると考えています。

また、国内外から3,500名を超える多数の学生が本県で4年間勉学に励むこととなるこの大学は、観光交流のうえからも重要な役割を果たすものであり、別府市が「国際観光温泉学術文化都市」として飛躍する大きな契機となるとともに、大分県全体の地域活性化に役立つものと思っています。

将来、母国で指導的立場につかれる留学生の皆さんに、素晴らしい教育と温かい思い出を与えられれば、大分県はアジア諸国のなかで最も愛される日本の県になりうると考えています。

本年4月に開学される立命館アジア太平洋大学が、世界に誇れる、地域に愛される大学となりますよう、今後とも皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。





## 竣工式をお祝いします

別府市長 井上 信幸

立命館アジア太平洋大学の竣工式に当たり、お祝いを申し上げます。

立命館アジア太平洋大学の誘致は、21世紀にふさわしい真の国際観光温泉文化都市を目指す別府市の新しいまちづくりの核となる事業と位置付け、当市百年の大計に立って推進してきたものであり、ここに新大学の竣工式を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

別府市では、21世紀を展望した将来方向を示し、市勢の一層の発展を図るため、「アジアの未来をひらく湯けむりのまち」を都市像とする別府市総合計画を策定し、世界に誇る温泉をはじめとする、美しい自然環境と当市固有の歴史や文化を活かした快適な都市環境の中で、交流と共鳴の輪を広げ、新しい文化や人材を育む、アジアの国際交流拠点都市として先導的な役割を果たすべく、まちづくりを進めてまいります。

この計画を推進するに当たり、立命館アジア太平洋大学は、アジア、太平洋地域等の国々から、多才な教授陣をはじめ多くの若者が集い、国際社会で活躍する人材育成の拠点となり、我が国の国際的地位を高めるとともに、学術・芸術・文化・経済の発展、さらには当市の活性化と国際化の推進にも多大な貢献をするものと大いに期待しているところであります。

今後、新大学の開学により、別府市がアジア太平洋地域の交流拠点となり、21世紀に向けて大きく飛躍、発展していくものと確信いたしており、今日が記念すべき第一歩であります。

最後になりましたが、本日の竣工式に当たり、大学当局をはじめ関係各位のご尽力に対し、深く感謝を申し上げますとともに、立命館アジア太平洋大学の輝かしい未来への発展を心から祈念いたします。



# ごあいさつ



## 学校法人立命館 理事長 川本 八郎

立命館アジア太平洋大学（APU）建設事業の竣工にあたり、学校法人立命館を代表して、関係各位の皆様にご挨拶を申し上げます。

新年を迎え西暦2000年は、立命館学園にとりまして、西園寺公望が自由主義と国際主義の精神を柱に私塾「立命館」を創始してから130年、その名称と精神を受け継いだ中川小十郎が学園を創立して100周年になります。本学園は、常に社会からの大学に対する要請を受け止め、時代の求める大学の役割を自覚しながら、教育・研究の改革、学習環境の整備、施設・設備の充実を図って参りました。高等教育機関としての歴史的・社会的役割を本学が積極的に果たすために、現在、第5次長期計画を進めておりますが、その事業の一つがこの度のAPU創設事業であります。

このAPUは、学生の半数をアジア太平洋地域をはじめとした世界各国からの留学生とし、国境を越え、文化・宗教・民族の壁を乗り越えて共に学び合う国際大学であります。21世紀におけるアジア太平洋地域の持続的・平和的発展と共生を担う国際的人材を広く国際舞台に輩出できるよう努めるとともに、教育という事業を通じて国際社会とりわけアジア太平洋地域に対する国際的貢献をしてみたいと存じます。

設計・監理の株式会社山下設計、施工（幹事）の株式会社熊谷組をはじめ、50社を超える協力企業各社の皆様にご尽力を賜り、無事に本日の竣工式を迎えることができました。改めて衷心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、大分県ならびに別府市の県民・市民の皆様、各界各層の皆様、そして卒業生の皆様方に深く感謝いたしますとともに、引き続きご高配とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 立命館 総長 長田 豊臣

立命館アジア太平洋大学（APU）建設工事の竣工は、立命館学園関係者のすべての大きな喜びであります。この日を迎えることができますことは、ひとえに大分県ならびに別府市をはじめ学内外の多くの関係者の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

「21世紀はアジア太平洋の時代」といわれます。アジア太平洋地域は豊富な自然と資源を有していることから、地域の発展を担う人材の育成が伴えば大きな飛躍を可能にする潜在能力を秘めています。APUは、大分県別府市という、歴史的にもアジアへの入り口として機能して来た絶好のロケーションに建設できました。「自由・平和・ヒューマニズム」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を教学理念とするAPUは、「アジア太平洋学部」「アジア太平洋マネジメント学部」の2学部を設置し、アジア太平洋地域の平和的発展と共存共栄に積極的に貢献しうる国際的人材を養成していきたいと考えております。

APUは、その建学の志の高さにおいて国の内外において大きな注目を集めております。今後いかに研究と教学の内容を充実させ、「アジア太平洋学」という、今までにない学問体系を高い質で打ち立て、アジアを中心とする留学生が大分県別府のAPUで学ぶことがステータスとなるような大学にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、工事にご尽力いただきました関係各位に改めて厚く御礼申し上げますとともに、高等教育機関としての社会的使命を果たすため、引き続き学園創造に邁進する所存でございます。今後とも皆様方の変らぬご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



## 立命館アジア太平洋大学長 坂本 和一

このたび立命館アジア太平洋大学（APU）建設工事が無事に竣工となりましたことは、この上ない大きな喜びであります。また、文部大臣に申請しておりましたAPUの設置認可につきましては、昨年12月22日に文部大臣より認可を頂戴することができ、当初の計画通り今春には開学の運びとなりました。これもひとえに大分県ならびに別府市の関係各位のご高配とご支援の賜物であり、アドバイザー・コミッティ委員の先生方をはじめ各界各層の皆様方の熱意あるご指導ご鞭撻、積極的なご支援、ご協力の賜物であると、深く感謝申し上げます。また、建設工事遂行にあたり見事にこれを完成されました設計監理業者ならびに施工業者の関係各位に、衷心より感謝申し上げます。

APUは、世界約50カ国・地域からの留学生と国内学生が「マルチカルチュラル・コミュニティ」という国際的環境の中で共に学び生活する新しい「知」のフィールドであり、21世紀に本格的に展開していくグローバル化社会の時代、とりわけアジア太平洋の時代において、アジア太平洋地域、さらには全世界諸地域の共存と持続的・平和的な発展に貢献する人材の養成、ならびに学問研究の創造を目標として創設されるものであります。ここでは、このような目標と国際的なキャンパス環境に相応しく、英語、日本語の二言語を併用した斬新な教育システムが採用されます。APUの開設は、わが国の高等教育が21世紀に向けて新境地を切り拓き、我が国ではかつて試みられたことのない本格的な国際大学の創造を担う、一大事業であると自負いたしております。

この取り組みを進めるなかで、新しい大学創設の事業に対する、国内外、各方面、各層の方々の共感と具体的な支援協力の環が大きく広がりつつあります。APUに対する期待の大きさを実感いたしますとともに、その責任の重さを改めて噛み締めております。

今後とも皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。



# キャンパス配置図



# ADMINISTRATION

## A棟一本部棟 (工事名称 管理棟) 建物工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計	
施 工	熊谷組・梅林建設・三光建設工業 共同企業体 (協力企業)	
	電気設備工事	株式会社 きんでん
	空調設備工事	株式会社 三晃空調
	給排水衛生設備工事	ダイダン 株式会社
	昇降機設備工事	日本電気機器 株式会社 (株式会社 日立製作所)
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階 地上5階 塔屋1階	
面 積	建築面積	2,077.35m <sup>2</sup> (回廊・車寄せ含む)
	延床面積	8,781.68m <sup>2</sup>
	各階床面積	地階 1,441.68m <sup>2</sup>
		1 階 1,692.17m <sup>2</sup>
		2 階 1,673.62m <sup>2</sup>
		3 階 1,272.52m <sup>2</sup>
		4 階 1,338.52m <sup>2</sup>
		5 階 1,244.52m <sup>2</sup>
		塔屋 118.65m <sup>2</sup>
施設概要	地階	熱源機械室 電気室 空調機械室 非常用発電機室
	1 階	スチューデント・オフィス ヘルスクリニック 中央監視室
	2 階	アカデミック・オフィス アドミッションズ・オフィス コンベンションホール
	3 階	会議室
	4 階	アドミニストレーション・オフィス ネットワーク・オフィス 秘書室 役員室 応接室
	5 階	特別研究室



# FACULTY OFFICES

## B棟—研究棟(工事名称 研究棟) 建物工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計		
施 工	鴻池組・ムクノ建設工業・浦松建設 共同企業体 (協力企業)		
	電気設備工事	住友電設 株式会社	
	空調設備工事	株式会社 大気社	
	給排水衛生設備工事	三機工業 株式会社	
	昇降機設備工事	日本電気機器 株式会社 (株式会社 日立製作所)	
構 造	鉄筋コンクリート造	地上5階 塔屋1階	
面 積	建築面積	1,867.42m <sup>2</sup>	
	延床面積	7,282.81m <sup>2</sup>	
	各階床面積	1 階	1,692.82m <sup>2</sup>
		2 階	1,386.26m <sup>2</sup>
		3 階	1,377.16m <sup>2</sup>
		4 階	1,377.16m <sup>2</sup>
		5 階	1,377.16m <sup>2</sup>
		塔屋	72.25m <sup>2</sup>
施設概要	1 階	キャリア・オフィス 立命館アジア太平洋研究センター 言語教育センター 常勤講師共同研究室 研究支援事務室	
	2 階	研究会室 ラウンジ	
	3～5階	個人研究室 ゼミ・プロジェクト室 ラウンジ 情報コーナー	





# MILLENNIUM HALL

## C棟—ミレニアムホール(工事名称 国際交流センター) 建物工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計		
施 工	三井建設・新成建設・長幸建設 共同企業体 (協力企業)		
	電気設備工事	日本電設工業 株式会社	
	空調・給排水衛生設備工事	新日本空調 株式会社	
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート・鉄骨造 地上3階 塔屋1階		
面 積	建築面積	2,451.29m <sup>2</sup>	
	延床面積	2,696.28m <sup>2</sup>	
	各階床面積	1 階	2,330.16m <sup>2</sup>
		2 階	294.30m <sup>2</sup>
		3 階	32.07m <sup>2</sup>
		塔屋	39.75m <sup>2</sup>
施設概要	1 階	ホール(730席) ホワイエ 舞台 リハーサル室 事務受付室 楽屋事務室 楽屋 クローク	
	2 階	調整室 投光室	
	3 階	投光室	



# MEDIA CENTER

## D棟—メディアセンター(工事名称 総合情報センター) 建物工事概要

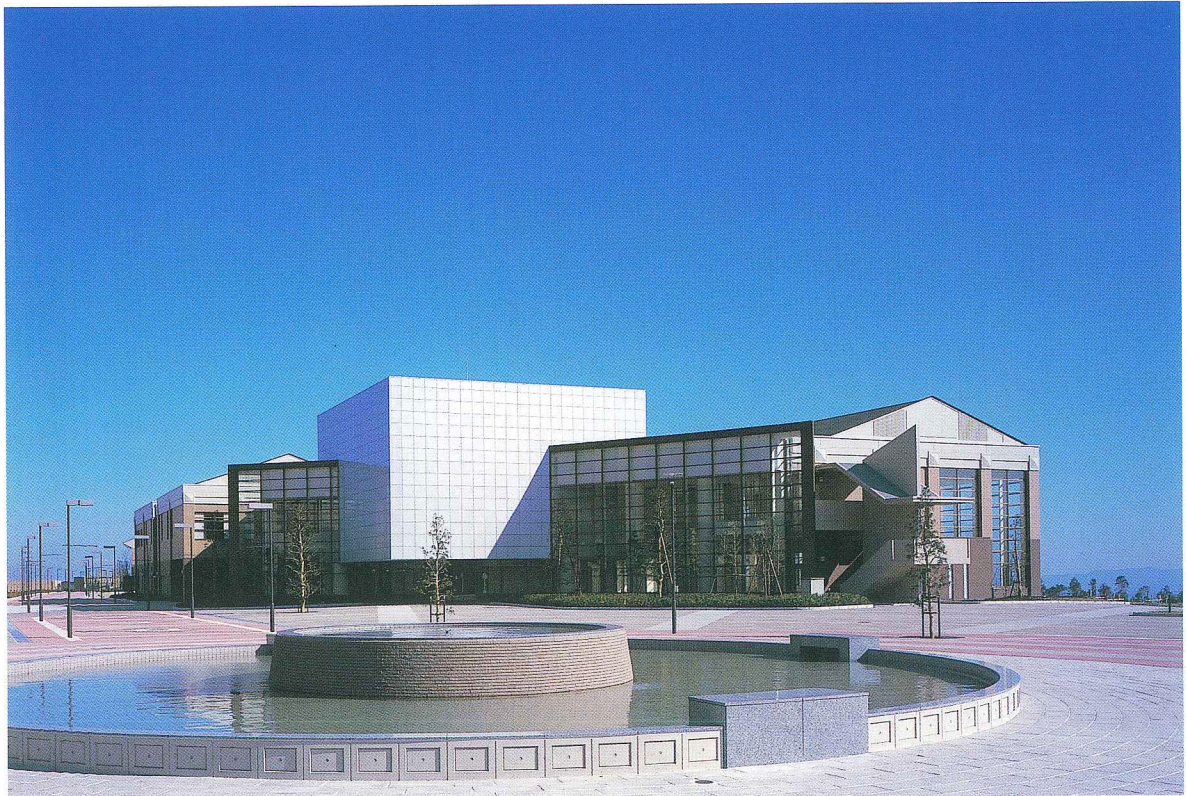
設計・監理	株式会社 山下設計		
施 工	鹿島建設・佐伯建設・和田組 共同企業体 (協力企業)		
	電気設備工事	九電工・豊洋電設 共同企業体	
	空調設備工事	高砂熱学工業・協和工業 共同企業体	
	給排水衛生設備工事	東洋熱工業 株式会社	
	昇降機設備工事	日本電気機器 株式会社 (株式会社 日立製作所)	
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 塔屋1階		
面 積	建築面積	4,404.19m <sup>2</sup>	
	延床面積	13,211.44m <sup>2</sup>	
	各階床面積	地階	1,010.60m <sup>2</sup>
		1 階	4,179.18m <sup>2</sup>
		2 階	3,996.12m <sup>2</sup>
		3 階	4,000.69m <sup>2</sup>
		塔屋	24.85m <sup>2</sup>
施設概要	地階	空調機械室	
	1 階	APUライブラリー マルチメディアルーム ACライブラリー レファレンスルーム 特別閲覧室 教室 常勤講師共同研究室	
	2 階	情報セミナールーム 閲覧室 開架閲覧室 グループ閲覧室 研究個室 教室	
	3 階	教室 情報処理演習室 CAI教室 マルチメディアラボ I 情報系教員共同研究室	



# STUDENT UNION

## E棟—スチューデントユニオン(工事名称 学生厚生施設) 建物工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計		
施 工	さとうベネック・橋本建設・光綜合工業 共同企業体 (協力企業)		
	電気設備工事	鬼塚電気工事 株式会社	
	空調・給排水衛生設備工事	株式会社 三信工業	
	昇降機設備工事	日本電気機器 株式会社 (株式会社 日立製作所)	
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階 塔屋1階		
面 積	建築面積	3,894.59m <sup>2</sup>	
	延床面積	6,402.84m <sup>2</sup>	
	各階床面積	1 階	3,605.46m <sup>2</sup>
		2 階	2,777.89m <sup>2</sup>
		塔屋	19.49m <sup>2</sup>
施設概要	1 階	食堂 カフェテリア ショップ アトリエ	
	2 階	スチューデントホール 学生執務室 マルチメディアラボII 学生ラウンジ イベントスペース 和室 音楽練習室 会議室 ミーティングスペース	



# CLASSROOMS

## F棟—教室棟 (工事名称 教室棟) 建物工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計		
施 工	戸田建設・後藤組・幸建設 共同企業体 (協力企業)		
	電気設備工事	九電工・鬼塚電気工事 共同企業体	
	空調設備工事	新菱冷熱工業・三信工業 共同企業体	
	給排水衛生設備工事	東洋熱工業・協栄工業 共同企業体	
	昇降機設備工事	日本電気機器 株式会社 (株式会社 日立製作所)	
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造 地上3階		
面 積	建築面積	4,756.62m <sup>2</sup> (渡り廊下含む)	
	延床面積	8,651.59m <sup>2</sup> (渡り廊下含む)	
	各階床面積	1 階	4,433.83m <sup>2</sup>
		2 階	3,155.26m <sup>2</sup>
		3 階	1,062.50m <sup>2</sup>
施設概要	1 階	教室	言語ラウンジ 和心庵 (茶室)
	2 階	教室	学習準備コーナー
	3 階	教室	個人研究室



# GYMNASIUM

## G棟一体育館(工事名称 体育館) 建物工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計		
施 工	菅組・後藤工務店 共同企業体 (協力企業)		
	電気設備工事	交永電気工事 株式会社	
	空調・給排水衛生設備工事	協栄工業 株式会社	
	昇降機設備工事	日本電気機器 株式会社 (株式会社 日立製作所)	
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階		
面 積	建築面積	2,575.28m <sup>2</sup>	
	延床面積	3,007.96m <sup>2</sup>	
	各階床面積	1 階	2,393.10m <sup>2</sup>
		2 階	614.86m <sup>2</sup>
施設概要	1 階	アリーナ フィットネスルーム スタッフルーム 更衣室 シャワー室	
	2 階	ミーティングルーム 放送室	



# AP HOUSE

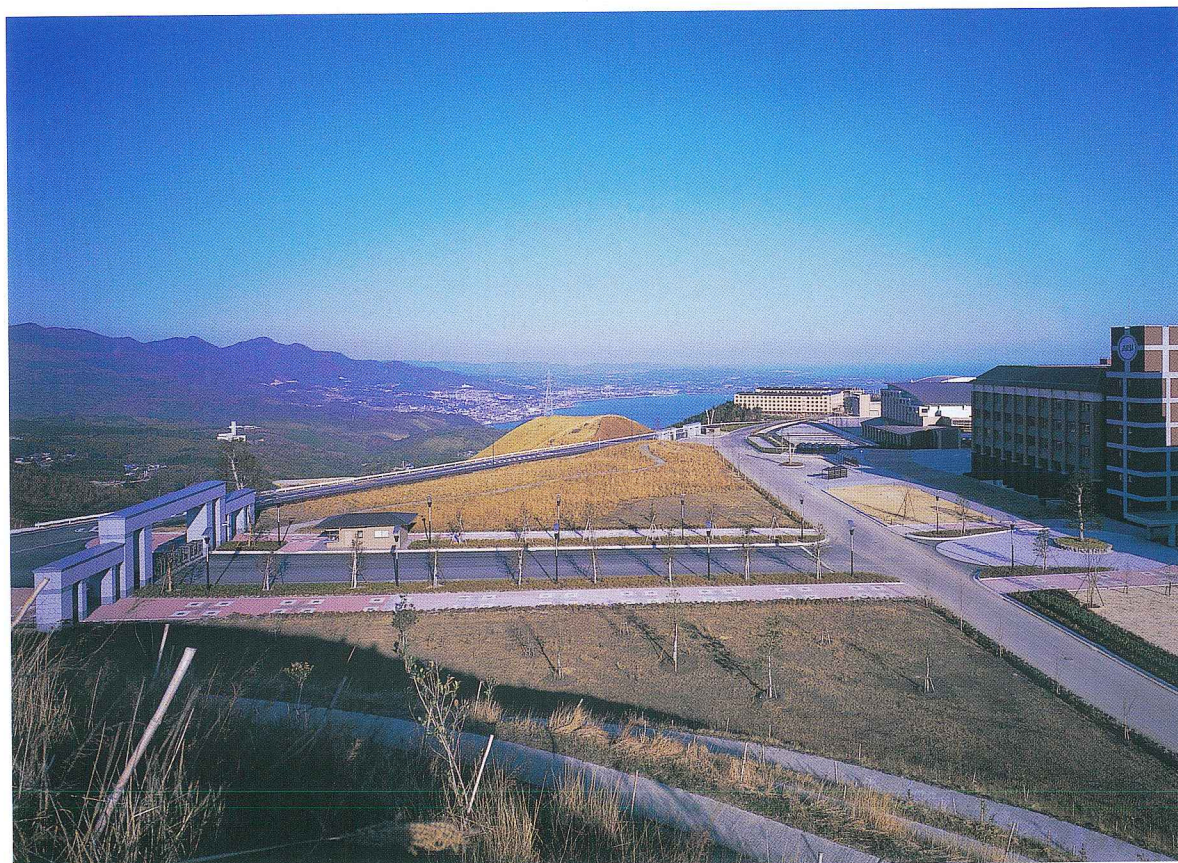
## APハウス(工事名称 学生寮) 建物工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計
施 工	株式会社 熊谷組 (協力企業)
	電気設備工事 株式会社 九電工
	空調・給排水衛生設備工事 ダイダン 株式会社
	昇降機設備工事 松下電器産業 株式会社 (日本オーチス・エレベータ 株式会社) 東芝エレベータ 株式会社
構 造	鉄筋コンクリート造 地上5階 塔屋1階
面 積	建築面積 2,806.62m <sup>2</sup> 延床面積 11,097.46m <sup>2</sup> 各階床面積 1階 2,768.58m <sup>2</sup> 2階 2,240.32m <sup>2</sup> 3階 2,240.32m <sup>2</sup> 4階 2,181.86m <sup>2</sup> 5階 1,627.56m <sup>2</sup> 塔屋 38.82m <sup>2</sup>
施設概要	1階 APハウス事務室 メールコーナー インターネットルーム 浴室 ミーティングルーム 応接室 1~5階 居室 コミュニティーキッチン ランドリー シャワーコーナー セミナー室

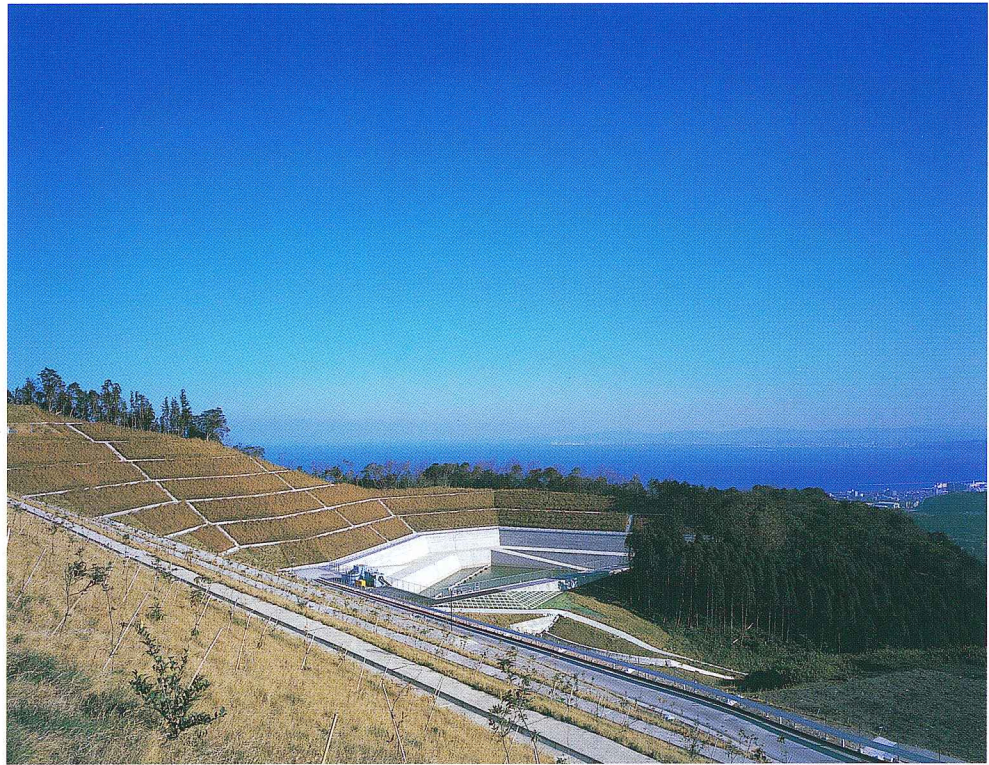


## 造成工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計
施 工	熊谷組・さとうベネック・安部組 共同企業体 (協力企業)
	共栄機械工事 株式会社
	株式会社 ガイアートクマガイ
工事概要	土工事 法面工事 擁壁工事 調整池工事 流末水路工事 防災工事 排水工事 污水管布設工事 法定造林工事 給水管工事 付帯工事



貴重植物ゾーン



1号 調整池



2号 調整池



## 外構工事概要

設計・監理	株式会社 山下設計	
施 工	熊谷組・さとうベネック・安部組 共同企業体 (協力企業)	
	電気設備工事	株式会社 きんでん
	給排水衛生設備工事	ダイダン 株式会社
	昇降機設備工事	東芝エレベータ 株式会社
工事概要	正門・正門受付	41.10m <sup>2</sup>
	東門・東門受付	12.00m <sup>2</sup>
	エネルギー施設棟	372.27m <sup>2</sup>
	体育器具庫 (2棟)	119.08m <sup>2</sup>
	バスターミナルシェルター (3棟)	48.00m <sup>2</sup>
	バス待合室	48.00m <sup>2</sup>
	ゴミ集積所	309.96m <sup>2</sup>
	屋外便所 (3棟)	63.18m <sup>2</sup>
	清掃員詰所	217.36m <sup>2</sup>
	メイングラウンド	中央広場
	連絡歩道橋・EV棟	ウェーブ (野外ステージ)
	スタンド周辺施設	多目的グラウンド
	テニスコート (5面)	池・噴水
	共同溝工事	
	舗装工事	
	排水工事	
外構雑工事		
植栽工事		
サイン工事		



正 門



中央広場



ウェーブ  
(野外ステージ)



連絡歩道橋  
EV棟



エネルギー施設棟

# 竣工のごあいさつ

株式会社 山下設計 代表取締役社長 柴田 寛二

学校法人立命館ならびに大分県、別府市が一体となってご推進されました、次なる世紀を先導するとも言えるこの極めて意義深い、立命館アジア太平洋大学の御事業の一端に設計監理の立場で参加出来ましたことを、心より光栄に存ずるとともに、この日を迎えることが出来ましたのも御関係各位の終始かわらぬ熱意あふれるご指導と、ご鞭撻、又ご支援の賜物と衷心より感謝申し上げ、ご竣工を心よりお祝い申し上げる次第でございます。

又、技術を集積し、この建設を見事に完成させられました企業各位に対しましては、心より敬意を表するものであります。

宗教、文化の異なる日本、アジアの若者が、この大分県、別府市に集い、同じ釜の飯で友となり、4年間の大学生活の中で、地元にもなじみ、共通の価値観をはぐくむことが出来たならば、そのことが将来大分県、日本、そしてアジアにもたらす限りない影響について、それを計り知ることは出来ません。

太平洋に向かって大きく両手を拡げた基本配置をもったこのキャンパスの中で、教育を通じて築き上げられるヒューマンリレーションズの拡がり、来るべき21世紀の日本とアジアの新しい関係を創造すると言っても過言ではありません。

本日出発をされます立命館アジア太平洋大学が、大分県が、又別府市が新しい国際関係創りの一大基地として、大いなるご発展をされますことを、心より信じ且祈念申し上げ、ご竣工のご挨拶とさせていただきます。



# 竣工に際して

施工者代表 株式会社 熊谷組 取締役社長 松本 良夫

この度、立命館大学アジア太平洋大学設置事業がめでたく竣工の運びとなりましたことを心からお慶び申し上げます。

本事業は1997年10月に着工した造成工事を経て、1998年8月には建築工事がスタートいたしました。

自由・平和・ヒューマニズムを基調とする「21世紀のアジア太平洋の未来創造」に貢献する人材を育成するという崇高な目的をもつ、この意義深い事業に、設計・監理をご担当されました株式会社山下設計様のご指導のもと、建設を通して参画できましたことは、施工に携わった各社にとりましてこの上なく榮譽とするところでございます。

ここに、無事工期どおりに完成し、この佳き日を迎えることができたことは、偏に学校法人立命館様をはじめ大分県、別府市ならびに関係各位のご情熱とご指導の賜と、施工者一同深く感謝申し上げます。

真の国際化を追求し21世紀に飛躍する学校法人立命館様の益々のご発展を心からお祈り申し上げまして、御祝と御礼の挨拶とさせていただきます。



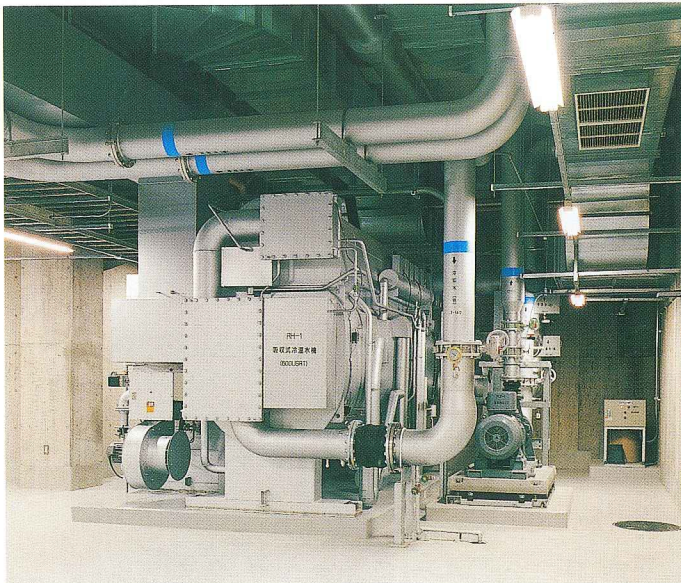
地下共同溝

## 電気設備概要

受変電設備	受電 66000V	本・予備2回線
	主変圧器 66000/6600V	4000kVA 2台
	非常用発電機 220V	300kVA 1台
電話設備	PBX収容局線	INS 1500 3回線
		INS 64 2回線
	PBX実装内線	アナログ 600回線
		デジタル 80回線
		INS 1500仕様2回線
		INS 64仕様20回線
中央監視設備 (電気・空調・衛生・防災・トイレ防犯)		5400点
セキュリティシステム	カードゲート	117ヵ所
	防犯設備	127ヵ所
	ITV設備	39ヵ所
防災設備 (GR型)	自火報警警戒区域	248ヵ所
	ガス漏れ警戒区域	63ヵ所
	防火戸・排煙区域	102ヵ所
非常放送設備		4260W
CATV		60チャンネル対応
LAN	基幹線	100BASE-FX
	支線	100BASE-FX、 100BASE-T
	情報コンセント	1882個

## 空調給排水衛生設備概要

熱源	ガス焚二重効用式 冷温水発生機
	600USRT 2基 設置
	各棟に冷温水供給
集中熱源系統	空調機
	ファンコイルユニット
個別熱源系統	ガスヒートポンプ
	空冷ヒートポンプ
上 水	別府市水道より受水槽 (199.5 $\text{m}^3$ ・ 50 $\text{m}^3$ 各1基) 及び副受水槽 (13.6 $\text{m}^3$ ) に貯水、本部棟・研究棟・ミレニアム ホール・スチューデントユニオン・ 教室棟は高架水槽 (42.5 $\text{m}^3$ ・15 $\text{m}^3$ 各 1基) より重力式給水、その他の棟は ポンプ圧送
排 水	汚水、雑排水は別府市下水道に接続 雨水は調整池を経由して公共水域へ



熱源機械室

## 立命館アジア太平洋大学設置事業概要

1. 大分県と別府市、学校法人立命館の3者による立命館アジア太平洋大学新設共同記者会見 (1995年9月25日)  
大分県と別府市、学校法人立命館の3者による「立命館アジア太平洋大学設置基本協定書」調印 (1997年4月12日)
2. 取得用地
 

所 在 地	大分県別府市大字内竈字扇山3677—76他
用 地 面 積	416,323.20m <sup>2</sup> (125,937.76坪)
3. 造成工事
 

設 計 ・ 監 理	株式会社 山下設計
施 工	株式会社 熊谷組      株式会社 さとうベネック      株式会社 安部組
(協 力 企 業)	共栄機械工事 株式会社      株式会社 ガイアートクマガイ
工 期	起工式 1997年10月18日 完 了 1999年12月25日
環 境 ア セ ス メ ン ト	実地調査一年間、環境影響評価書案提出 (1997年4月28日) 環境審議会諮問、市長・知事意見書告示、環境影響評価書提出 (1997年6月9日)
開 発 行 為 許 可	1997年9月17日
宅 地 造 成 工 事 許 可	1997年9月17日
林 地 開 発 許 可	1997年9月17日
文 化 財 発 掘 調 査 (別府市教育委員会委託)	試掘調査 トレンチ調査実施 出土品 土師器片数十点 牛馬神祠及び配石遺構の移設 (指導 奈良大学 学長 水野正好)
土 工 事 量	1,780,000m <sup>3</sup> (切土表示)
調 整 池	1号調整池 (新川放流) .流域面積259,900m <sup>2</sup> .調整容量32,300m <sup>3</sup> 2号調整池 (冷川放流) .流域面積116,000m <sup>2</sup> .調整容量 6,400m <sup>3</sup>
貴 重 植 物 移 植	キスミレ、ヒゴタイ、エヒメアヤメ、オキナグサ、ミヤマキリシマ、バイカイカリソウ、 ソルフジバカマ、オオナンパンギセル 他 (指導 元 別府大学短期大学部教授 荒金正憲)
造 成 森 林	71,153m <sup>2</sup> 苗木14,860本 (クヌギ、シイ、ネズミモチ、シラカシ、アラカシ 他)
法 面 緑 化	90,066m <sup>2</sup> (ネッコチップ再利用工法含)
公 園 緑 地	13,242m <sup>2</sup> (貴重植物ゾーン)
自 然 緑 地	54,152m <sup>2</sup>
4. 建築関係工事
 

設 計 ・ 監 理	株式会社 山 下 設 計		
施 工	代表幹事会社 株式会社 熊 谷 組		
	建築工事	電気設備工事	空調・給排水衛生設備工事
本 部 棟 (管 理 棟)	株式会社 熊谷組 梅林建設 株式会社 三光建設工業 株式会社	株式会社 きんでん	株式会社 三晃空調 ダイダン 株式会社
研 究 棟	株式会社 鴻池組 ムクノ建設工業 株式会社 株式会社 浦松建設	住友電設 株式会社	株式会社 大気社 三機工業 株式会社
ミレニアムホール (国際交流センター)	三井建設 株式会社 新成建設 株式会社 長幸建設 株式会社	日本電設工業 株式会社	新日本空調 株式会社
メディアセンター (総合情報センター)	鹿島建設 株式会社 株式会社 佐伯建設 株式会社 和田組	株式会社 九電工 株式会社 豊洋電設	高砂熱学工業 株式会社 協和工業 株式会社 東洋熱工業 株式会社
スチューデントユニオン (学生厚生施設)	株式会社 さとうベネック 橋本建設 株式会社 光綜合工業 株式会社	鬼塚電気工事 株式会社	株式会社 三信工業
教 室 棟	戸田建設 株式会社 株式会社 後藤組 株式会社 幸建設	株式会社 九電工 鬼塚電気工事 株式会社	新菱冷熱工業 株式会社 株式会社 三信工業 東洋熱工業 株式会社 協栄工業 株式会社
体 育 館	株式会社 菅組 株式会社 後藤工務店	交永電気工事 株式会社	協栄工業 株式会社

APハウス (学生寮)	株式会社 熊谷組	株式会社 九電工	ダイダン 株式会社
外構工事	株式会社 熊谷組 株式会社 さとうベネック 株式会社 安部組	株式会社 きんでん	ダイダン 株式会社

(協力企業)

昇降機設備工事	日本電気機器 株式会社 (株式会社 日立製作所) 東芝エレベータ 株式会社	松下電器産業 株式会社 (日本オーチス・エレベータ 株式会社)
---------	---	------------------------------------

AV設備 電話設備 情報設備	松下電器産業 株式会社 協和テクノロジーズ 株式会社 松下電器産業 株式会社 富士通 株式会社 株式会社 紀伊國屋書店 株式会社 クレオテック	日本電気 株式会社 ソニーマーケティング 株式会社 ワールドビジネスセンター 株式会社	株式会社 日立製作所 丸善 株式会社
機器・備品 (協力企業)	愛知 株式会社 株式会社 イトーキ 株式会社 ニシザキ セノー 株式会社	株式会社 岡村製作所 凸版印刷 株式会社 株式会社 堀文 株式会社 トキハ	株式会社 コトブキ 株式会社 内田洋行 美津濃 株式会社 大分交通 株式会社
工期	起工式 1998年8月21日 建物完了 1999年12月25日	上棟式 1999年7月10日 外構工事完了 2000年4月30日予定	

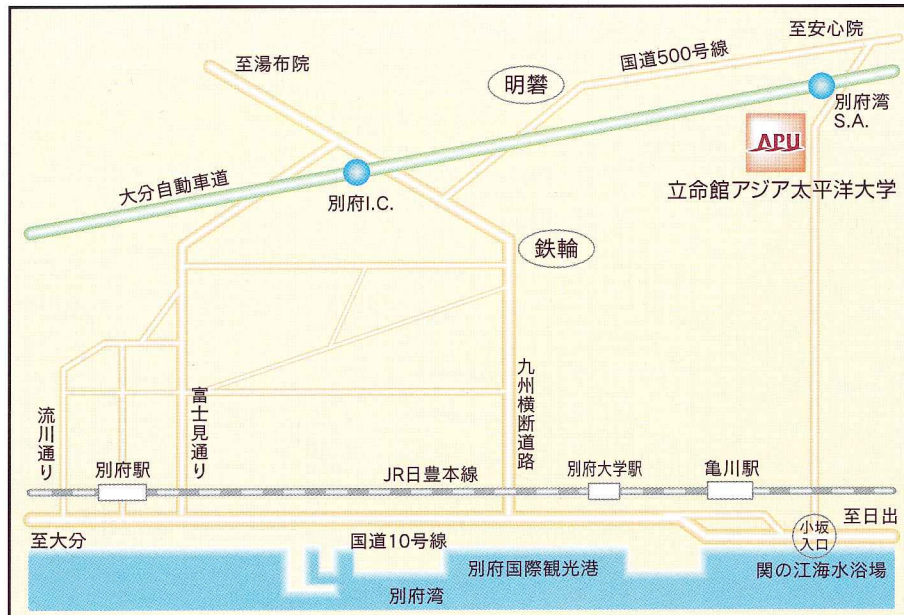
建物構造規模

建物名称	構造	階数	延床面積
①A棟—本部棟	(工事名称・管理棟) RC+S造	B1F・5F	8,781.68m <sup>2</sup>
②B棟—研究棟	(工事名称・研究棟) RC造	5F	7,282.81m <sup>2</sup>
③C棟—ミレニアムホール	(工事名称・国際交流センター) SRC+RC+S造	3F	2,696.28m <sup>2</sup>
④D棟—メディアセンター	(工事名称・総合情報センター) RC+SRC造	B1F・3F	13,211.44m <sup>2</sup>
⑤E棟—スチューデントユニオン	(工事名称・学生厚生施設) RC+SRC造	2F	6,402.84m <sup>2</sup>
⑥F棟—教室棟	(工事名称・教室棟) RC+SRC+S造	3F	8,651.59m <sup>2</sup>
⑦G棟—体育館	(工事名称・体育館) RC+S造	2F	3,007.96m <sup>2</sup>
⑧APハウス	(工事名称・学生寮) RC造	5F	11,097.46m <sup>2</sup>
⑨正門受付	RC造	1F	41.10m <sup>2</sup>
⑩東門受付	RC造	1F	12.00m <sup>2</sup>
⑪エネルギー施設棟	RC造	1F	372.27m <sup>2</sup>
⑫体育器具庫(2棟)	S造	1F	119.08m <sup>2</sup>
⑬バスターミナルシェルター(3棟)	S造	1F	48.00m <sup>2</sup>
⑭バス待合室	S造	1F	48.00m <sup>2</sup>
⑮ゴミ集積所	S造	1F	309.96m <sup>2</sup>
⑯屋外便所(3棟)	S造	1F	63.18m <sup>2</sup>
⑰清掃員詰所	S造	2F	217.36m <sup>2</sup>
⑱寮付属建物(ゴミ置場・自転車駐輪場)	S造	1F	568.00m <sup>2</sup>
⑲連絡歩道橋・EV棟[工作物]	S造		(70.14m <sup>2</sup> )
合計 33棟			62,931.01m <sup>2</sup>
構築物	共同溝	W=2~4m H=3m(1.5m) L=488m	
	道路	外周道路総延長 (W=6~16m) L=2,965m	
		歩道関係 (W=4~11.5m) L=870m	
	排水	水路排水 18,492m、埋設管排水(下水管含む) 9,609m	
	植栽	植樹 2,615本(常緑樹 1,840本 落葉樹 775本) 低木 164,606株	

正門・東門 館銘揮毫 平松 守彦(大分県知事)  
 本部棟 定礎揮毫 川本 八郎(学校法人立命館 理事長)  
 研究棟・ミレニアムホール・メディアセンター  
 スチューデントユニオン・教室棟・体育館・APハウス ] 定礎揮毫 坂本 和一(立命館アジア太平洋大学長)



付近見取図



## 学校法人 立命館

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
TEL (075) 465-1111

## 立命館アジア太平洋大学

〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1  
TEL (0977) 78-1111